

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年4月16日(土) 1回目：10時～11時 2回目：13時～14時 定員各6名  
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 2人（内訳：当事者 1名、家族 1名、専門職 0名）  
2回目 7人（内訳：当事者 2名、家族5名、専門職 0名）  
フンドウー代表：1名スタッフ配置

4. 当日の様子

新年度初のカフェ開催です。晴天に恵まれて久しぶりに集い、近況報告を行いました。時間を午前・午後と変更して2回目の開催ですが…これまで来所されている方が午後の時間に集中してしまい、午前中は予約が埋まらない事も把握出来ました。皆さんへ相談して、元の①13時～、②15時～、各一時間の開催へ戻す事に決めました。初めて参加される方が3名居て、自助グループ“フンドウー”の活動を紹介。細かいことが気になって苛々する気持ちをどう対応するか？スケジュールを忘れる等について悩み相談があり、言葉が出にくくなる→ヘルプカードの作成・活用、時間やスケジュールを忘れる→ポイントを絞ってメモを活用する等、それぞれの家庭での工夫について仲間同士色々な意見を述べて情報共有しました。

5. 所感

ここで近況報告やコロナ禍での其々の思い、介護の話や悩みを共有・共感することが楽しみですとカフェの場を毎回楽しみにしているとの声があり、ご本人やご家族の居場所としての大切な場所だと再認識致しました。お土産はカットシフォンケーキです。



以上